

飼料用米・ 米粉用米

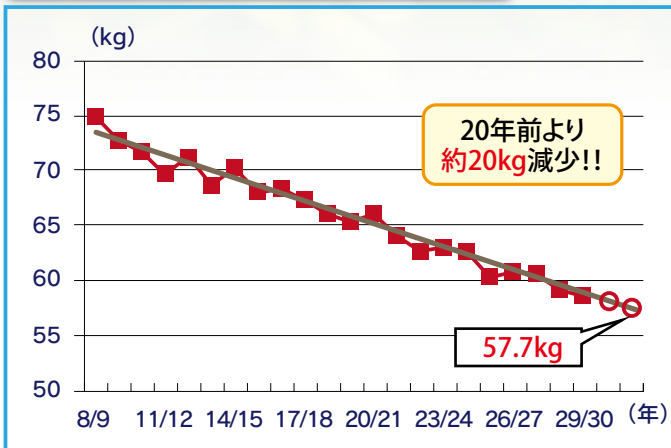


に取り組み・経営を安定させましょう!

埼玉県農業再生協議会（平成31年3月）

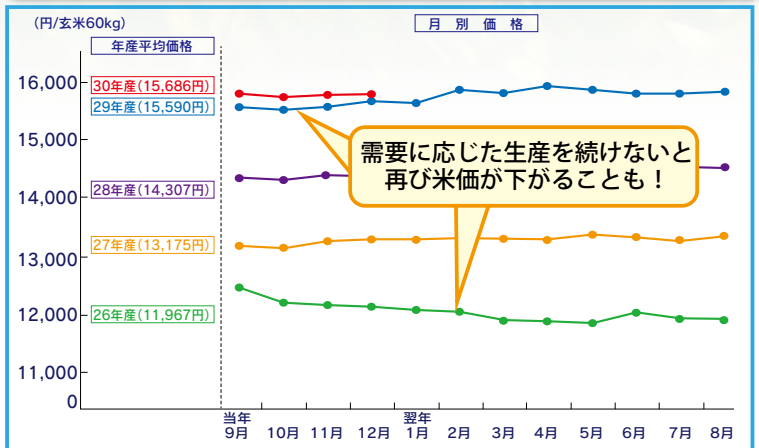
- 米の一人あたりの消費量と人口は毎年減っており、米の需要は**年間で10万トン減少**すると推計されています。
- 昨年と同じ作付**では、米は確実に余ってしまい、**米価が下落**する懸念があります。
- 過去の例では、過剰作付の2年後に価格が下がる傾向があります。30年産の面積は増えたが価格が下がらなかったから、31年産以降も大丈夫という保証はありません。
- 米価安定のためには、平成31年産も引き続き、**需要に応じた米生産**と飼料用米、米粉用米等を組み合わせた生産を行うことが重要です。

米の一人あたりの年間消費量



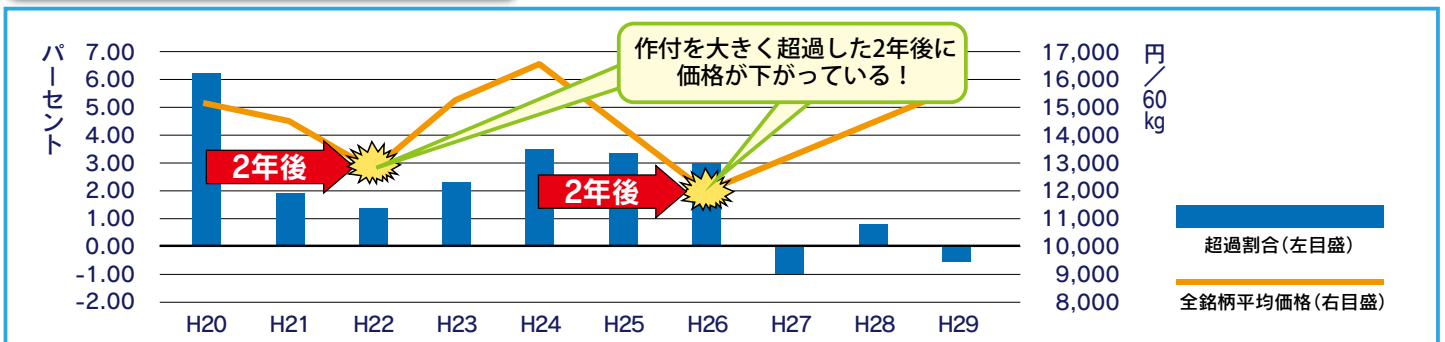
農林水産省「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」

相対取引価格の推移(税込)全銘柄平均価格



農林水産省「米をめぐる関係資料」「米に関するマンスリーレポート」

作付面積と価格の関係



飼料用米・米粉用米に取り組むメリット

- 産地交付金で**3,000円/10a***が加算されます。
- 国の支援が手厚く、**作付段階で収入が見通せるため、経営が安定**します。
- 国内の米需給が安定し、**主食用米の価格が安定**します。
- 飼料用米は配合飼料原料として大きな需要があり、米粉用米も県内実需者から需要があることから**確実な販売が可能**です。

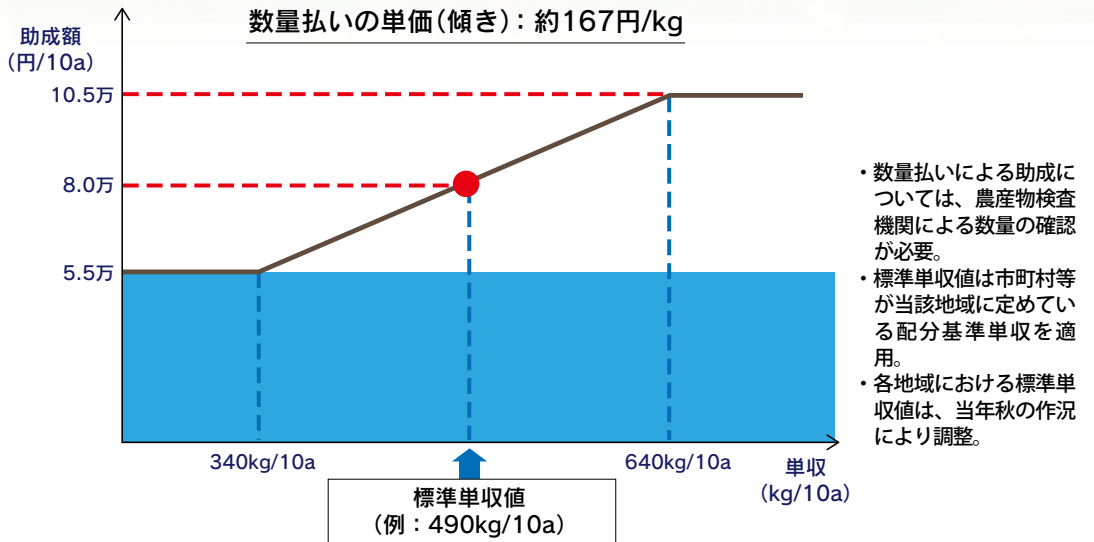
※交付対象者は担い手要件（認定農業者、集落営農、認定新規就農者、人・農地プランで中心経営体に位置付けられた方）を満たした方で、規模要件はありません。

助成制度（水田活用の直接支払交付金）

①戦略作物助成

区分管理の場合、数量払いの導入により、最大**10.5万円/10a**
標準単収で **8万円/10a**
一括管理の場合、契約数量を出荷することで **8万円/10a** 交付されます。
(作況指数100の場合)

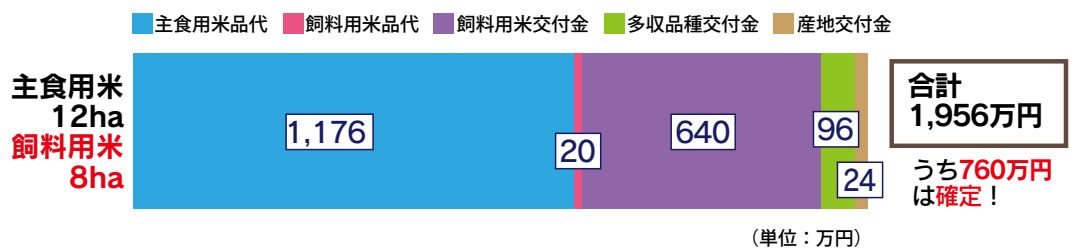
<交付金額のイメージ>



②多収品種の取組（産地交付金）

多収品種を作付すると上乗せで助成されます。 **助成単価:12,000円/10a**

<担い手要件を満たす方が水田20ha、うち4割に多収品種で飼料用米を作付した場合>



収入試算（イメージ）

- <試算条件>
- ・収量 主食用米、飼料用米：490kg/10a
 - ・品代 主食用米：12,000円/60kg 飼料用米：300円/60kg
 - ・交付金 飼料用米：80,000円/10a 多収品種：12,000円/10a 産地交付金：3,000円/10a